

平成 27 年度第6回経営会議概要

- 1 開催日時:平成 27 年 9 月 25 日(金)15:10～15:45
- 2 開催場所:プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要:以下のとおり
(●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問)

議題1 平成 28 年度経営方針(案)について

●安井課長【企画課】(資料1に基づき説明)

平成 28 年度三重県経営方針は、重点取組を経営方針で示すこととしたため、構成が大きく変わっている。最初に重点取組を示し、次に平成 28 年度の政策展開の基本方向(三つの柱)ごとの取組を示す。行政運営と職員の業務遂行にあたっての行動指針は今年度と同じ構成である。

「平成 28 年度の重点取組」について、「人口減少への対応」として「希望がかなう少子化対策」、「若者の雇用と県内定着の促進」、「中山間地域・南部地域における働く場の充実」に取り組む。次に、「社会経済情勢の変化等への対応」として、「学力・体力の向上に基づく『生き抜いていく力』の育成」、「地域医療提供体制の確保と地域包括ケアシステムの構築に向けた医療・介護サービスの充実」、「県民との協創による犯罪等の未然防止・抑止」、「競技スポーツ水準の向上」、「激化する豪雨等の自然災害への緊急的な対応」に取り組む。また、「伊勢志摩サミットへの対応」にも、取り組んでいく。

「平成 28 年度の政策展開の基本方向(三つの柱)ごとの取組」は、現在は記載していないが、最終案では、今後の議論をふまえ、政策ごとの主な取組内容について整理していく。

「平成 28 年度の行政運営」について、「行財政改革の推進」は、現在改定作業を進めている行財政取組の素案の考え方を記載している。「予算編成の基本的な考え方」、「組織機構及び職員定数調整の基本的な考え方」については、この後の議題になっている「平成 28 年度当初予算調製方針」、「平成 28 年度組織機構及び職員定数調整方針」のエッセンスを記載している。

「職員の業務遂行にあたっての行動指針」は、今年度と同様、5つの心得を掲載していく。

☆岡村子ども・家庭局長

「人口減少への対応」の「希望がかなう少子化対策」について、少子化対策には、子どもを産み育てることに関係する出生率と豊かに育つことができる環境整備の2つがあって、大きな両輪である。今回、前者の産み育てることに関係する出生率のほうを重点として取り上げるという意図で整理されたのか。

●安井課長【企画課】

どちらも重要な取組ではあるが、今回は、有配偶出生率に光を当てて、合計特殊出生率の向上に寄与するものを重点にした。

☆岡村子ども・家庭局長

子ども・家庭局では、両方を両輪で取り組むことを説明していくので、今後、対外的な説明の仕方の整理について相談させてほしい。

☆山口教育長

別紙の「平成 28 年度三重県経営方針(案)構成」について説明してほしい。

●安井課長【企画課】

左の欄が平成 27 年度の経営方針で、右の欄が平成 28 年度の経営方針の構成となっており、平成 27 年度の経営方針では全体の考え方を示していたが、重複している記述内容もあり、スリム化を図るために、平成 28 年度の経営方針は記述を省略している。

次に、「平成 27 年度の政策課題及びその展開方向」では選択・集中プログラムや特定政策課題等を記述していたが、平成 28 年度では選択・集中プログラムがなくなるため、記述していない。

行政運営と職員の業務遂行にあたっての行動指針は同じとなっている。「平成 28 年度の政策展開の基本方向(三つの柱)ごとの取組」は、今後の予算議論等を経て、15 の政策ごとに主な取組を記述していく。

☆福田地域連携部長

三つの柱ごとに主な取組を記述すると説明があつたが、経営方針は、政策先行型で、重点や方針を議論したうえで、予算の組み立てを議論するとしているのに、先程の説明では後付けで記述するという事なので、システムとして問題はないか。特に、今年度はみえ県民カビジョン・第二次行動計画を策定しており、4年間の取組を示している。人口減少や社会経済情勢の変化等への対応として議論しているので、三つの柱については記述しなくてもいいのではないかな。

●安井課長【企画課】

平成 28 年度の経営方針を示すにあたって、県政の基本方針として、重点以外の取組を示したほうがいいと現時点では整理している。一方で、行動計画では今後4年間の施策の取組方向を示しているのので、三つの柱の記述については不要ではないかという議論もあるので、今後、整理したい。

☆鈴木知事

経営方針にすべては書き切れないし、また、プレミアム重点と重点にみえる。

☆福田地域連携部長

三つの柱の主な取組を重点と整理するのならよいが、ただ取組の方向性を記述するのはどうか。当初予算の知事の提案説明の中でも、施策と予算の部分があつて分かりにくいという議論がある中で、経営方針も2本立てにする必要はないのではないかな。

☆鈴木知事

議論の中では、当初予算のポイントをそのまま持つてくる話もあつた。

☆石垣副知事

農林水産業は、重点取組に、あまり出てこないのので、経営方針に主な取組を書いてほしいということもあるし、廃棄物4事案はどこにも書いていないので、どうしたらいいかということもある。

☆福田地域連携部長

中山間地域・南部地域について、働く場の充実に絞るという議論がされたということで、

理解しないといけないか。

●安井課長【企画課】

二役と議論した中で、重点取組のテーマを絞り込んだ結果である。

議題2 平成 28 年度当初予算調製方針（案）について

●藤嶋課長【財政課】(資料2に基づき説明)

平成 28 年度当初予算調製方針について説明。

☆植田副知事

例年がない厳しい財政状況を踏まえ、歳出面では、所要額で要求することができる大規模臨時的経費や特定政策課題枠はもちろん、義務的経費である人件費、社会保障関係経費、公債費についても、聖域なく見直し、例年以上に厳しい精査を行っていただきたい。

一方、歳入面では、施設の空きスペースの貸付など、多様な財源の確保にさらに努めるとともに、国費の導入や県債を充てられるものは可能な限り充てるなど、財源捻出についてもできる限り見込んでいただきたい。

議題3 平成 28 年度組織機構及び職員定数調整方針(案)について

●山口課長【総務課】(資料3に基づき説明)

平成 28 年度組織機構及び職員定数調整については、「平成 28 年度経営方針(案)」及び「平成 28 年度予算調製方針(案)」を踏まえ、次期の行財政改革の取組にも留意しながら行い、「みえ県民カビジョン・第二次行動計画(仮称)」の的確な推進を図るとともに、「伊勢志摩サミット」の推進に必要な体制を確保するよう調整することとしたい。

☆渡辺廃棄物対策局長

班長代理の役割は、個人の意識の持ち方に頼っている。班長代理の研修とかは考えられないか。

●山口課長【総務課】

位置づけの周知とともに、研修についても部内で検討したい。

☆福田地域連携部長

組織改正については、どの程度考えているのか。

●山口課長【総務課】

策定中の第二次行動計画から見ると、大きな組織改正はないと思っている。

☆福田地域連携部長

政策体系の見直しもあり、個人的には大きく見直したつもりである。認識が違うので、これから具体的に議論させてもらいたい。

●山口課長【総務課】

各部との調整の際に議論させていただきたい。

☆西城伊勢志摩サミット推進局長

サミット関係の人員についてはどう考えているのか。

●山口課長【総務課】

サミット開催後も開催前と同じ体制が必要だとは思っていない。どれくらいの人員が必要であるかは、これからの業務を見て調整することになる。

☆渡辺廃棄物対策局長

サミット関連で人員を拡充する場合は、どういう業務をするから人員がいるということをしつかりと提示したうえで行ってもらいたい。

☆高沖環境生活部長

組織の見直しをする場合は、時間切れで決定することのないよう、しっかり議論を行えるようにしてもらいたい。